

2019年3月15日

関西学院評価推進委員会
委員長 田淵 結
(関西学院 院長)

2018年度聖和短期大学自己点検・評価結果について

聖和短期大学の2018年度自己点検・評価結果を公表いたします。

2018年2月に公表した「Kwansei Grand Challenge 2039」の長期戦略に示したとおり、2019年度以降、自己点検・評価と中期計画のPDCAサイクルを統合します。

両者はそれぞれの目的体系を持ちながら重複する部分が多く、業務負担軽減の観点からも、共通の目的・目標の下で学院全体を見渡した統合的なPDCAサイクルの確立が必須となっていました。

このため、学院は二つのPDCAサイクルの統合とともに財政・人事・施設建設など経営資源に関する計画も組み込んだ「中期総合経営計画」を策定することで、効率的・効果的なマネジメントの実現を図ります。短期大学は三つのポリシーに基づく教学マネジメントを包含したPDCAサイクルの質を高めることにより、第3期認証評価（聖和短期大学本学は2021年度受審予定）でも重要視されている「内部質保証」を確立します。

2018年度は具体的には、中期総合経営計画で計画の統轄・担当を担う大学の機構・センター等の部局で、2019年度からスタートする中期総合経営計画の実施計画を策定しました。

短期大学でも2019年度以降に中期総合経営計画の実施計画に関して計画の策定が必要になることから、2018年度の自己点検・評価では、これまで取り組んできた理念・目的、目標、各方針等の適切性の検証（A票）や目標達成に向けた進捗評価（C票）だけでなく、短期大学での課題の抽出等も併せて行うことを狙いとしました。

短期大学においては、2018年度自己点検・評価の取り組みを2019年度以降の実施計画策定の準備と捉えて、2018年3月に公表された長期戦略を参照しつつ、今後の在り方や方向性を含めて検討してもらいました。

なお、報告書（シート類）をご覧いただき、お気づきの点等ございましたら事務局までご意見をお寄せください。

以上

自己評価事務局：関西学院評価情報分析室
(総合企画部 評価情報分析・認可申請担当)
jikohyouka@kwansei.ac.jp